日本語能力試験N2に初めて挑戦したとき、失敗したことです。

日本にきたばかり、すぐに日本語能力試験を受けました。その時、特に聴解部分で苦労し、試験中に完全についていけなかった経験があります。

失敗から学び、日本語学習へのアプローチを見直す機会を得ました。私は特に聴解能力を強化するために、毎日日本のニュースや音楽を聞くようにしました。また、より実践的な学習方法として、日本語での会話クラブに参加し、実際に日本語を話すチャンスを増やしました。

これらの努力の結果、次回の試験では聴解部分が改善され、見事にN2を合格することができました。この過程で最も大切だったことは、失敗を恐れずに挑戦し続ける勇気と、自分に合った学習方法を見つけ出す柔軟性でした。

この経験は、ただ言語能力を向上させるだけではなく、目標に向かってコツコツと努力し続ける大切さを教えてくれました。

普通のサークルと違って、学報部は学生会の一環として活動して、生徒や教師へのインタビュー、キャンパスニュースのレポートなどの重要なタスクを担当しています。もちろん、学報の作りも担っています。

大学2年から、副部長を務めて、学報をデジタル化にすることを提案しました。楽しくやりたいというメンバーの声もあったので、メンバー個々に「楽しみながらも目指すものに向かって活動しよう」と自分の気持ちを伝え続け、私を含め部員たちは色んな面白いアイデアを出しました。

また、メンバーみんなの能力を引き出すためには、グループディスカッションとプレゼンテーションにより、異なるグループへの配属を決めるという仕組みを導入しました。

この経験から、自分のコミュニケーション能力が鍛えられて、リーダーシップの重要性、またリーダーの役割について色々学びました。

手掛けてみたいビジネスは、データサービス分野のビジネスです。

データサービスでは、大量のデータを活用して新しいビジネスモデルを創出したり、顧客のニーズに応えるカスタマイズサービスを提供することが可能です。データを活かして、企業のマーケティング活動にも貢献できると考えています。

御社で働く中で、国際ビジネスに関する知識と経験を積み、グローバルな視点を持つ人に成長したいです。さらに、チームマネジメントやプロジェクトマネジメントのスキルを磨き、大きなプロジェクトをリードできるようになりたいと思っています。